Combi

生後 1 ヵ月から 48 ヵ月までの幅広いお子さまが使用できるベビーカーです。

施設用ベビーカー

保存版

コンビ 施設用ベビーカー SC51
取扱説明書・点検マニュアル

本書は施設用ベビーカー　SC51を安全に、また快適にご利用いただくために必要な内容が記載されています。ご使用前によくお読みの上、正しくご使用・点検ください。また、本書は大切に保管してください。

目 次

■ 取扱説明書

1 製品の用途 1
2 安全にご使用いただくために 1
3 施設のかたへのお願い 1
お手入れ方法 2
4 製品仕様 3
5 各部のなまえ 3
6 ご使用方法 4
ベビーカーの開きかた 7
ベビーカーの折りたたみかた 7
リクライニングの使いかた 8
キャスターの使いかた 9
ストッパーの使いかた 9
フロントガードの使いかた 9
シートベルト(股・腰・肩ベルト)の使いかた 10
幌の使いかた 12
足乗せバーの使いかた 12

■ 点検マニュアル

日常点検 13
日常点検チェックシート 15
定期点検 16
定期点検チェックシート 17

■ 部品交換手順書

シートベルトの取り付けかた 19
ガードカバーのはずしかた／取り付けかた 20
着脱シートのはずしかた／取り付けかた 21
カゴのはずしかた／取り付けかた 22
幌のはずしかた／取り付けかた 22
前輪キャスターの交換手順 23
後輪の交換手順 24

■ 保証書 26

コンビウィズ株式会社

施設用ベビーカー SC51
取扱説明書

1 製品の用途

●**施設用ベビーカー　SC51（以下本製品）は施設内で乳幼児を乗せ、買い物などに使用するための1人乗**り乳母車(ベビーカー)です。

2 安全にお使いいただくために

●ここに示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

⚠警 告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

3 施設のかたへのお願い

⚠警 告	●**製品を改造しないでください。** 本来の強度が保てず、事故につながるおそれがあります。
	●**製品を安全に使用していただくために、日常点検と6 ヵ月ごとの定期点検をお願いします。** 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。

点検方法は、本書13ページの「点検マニュアル」をご確認ください。

⚠注 意		
	●荷物用の台車として使用するなど、他の目的には使用させないでください。 故障の原因になります。	●雨ざらしにしないでください。 錆や汚れの原因になります。
	●屋外や駐車場に放置しないでください。 故障や車や人への衝突などの事故につながるおそれがあります。	●故障したベビーカーは使用しないでください。 事故につながるおそれがあります。
	〈保管方法〉 ※誤った保管をされると、火災や変形等故障の原因となります。 ●火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。 故障や変形の原因となります。 ●ベビーカーを重ねたり横にしたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。 故障や変形の原因となります。	

お手入れ方法

車体、着脱シート、ガードカバー、カゴ、幌の清掃

●本製品はお子さまを寝かせて使用するものです。設置後は定期的に清掃し清潔に保ってください。

●清潔な布で乾ぶきしてください。汚れが落ちにくい場合は、水あるいはぬるま湯をふくませてしぼった布でふき取り、そのあと乾ぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めたもので水ぶきし、洗剤が残らないように再度全体を水ぶきしたあと仕上げに乾ぶきしてください。

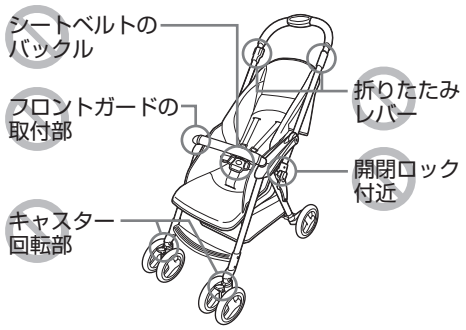
●着脱シートは、取りはずしてお手入れできます。（取りはずしかたは、21ページ参照）

⚠注 意	
	●中性洗剤以外の洗剤を使用することはおやめください。（プラスチックの劣化や退色、またヒビ割れが発生し破損することがあります。） ●本品は縫製部含めて洗濯はできません。洗濯は破損、変色、劣化の原因となります。

注油について

●きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコーン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。

●右記に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



⚠注 意	
	●お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレストなどに潤滑油が付着しないようご注意ください。

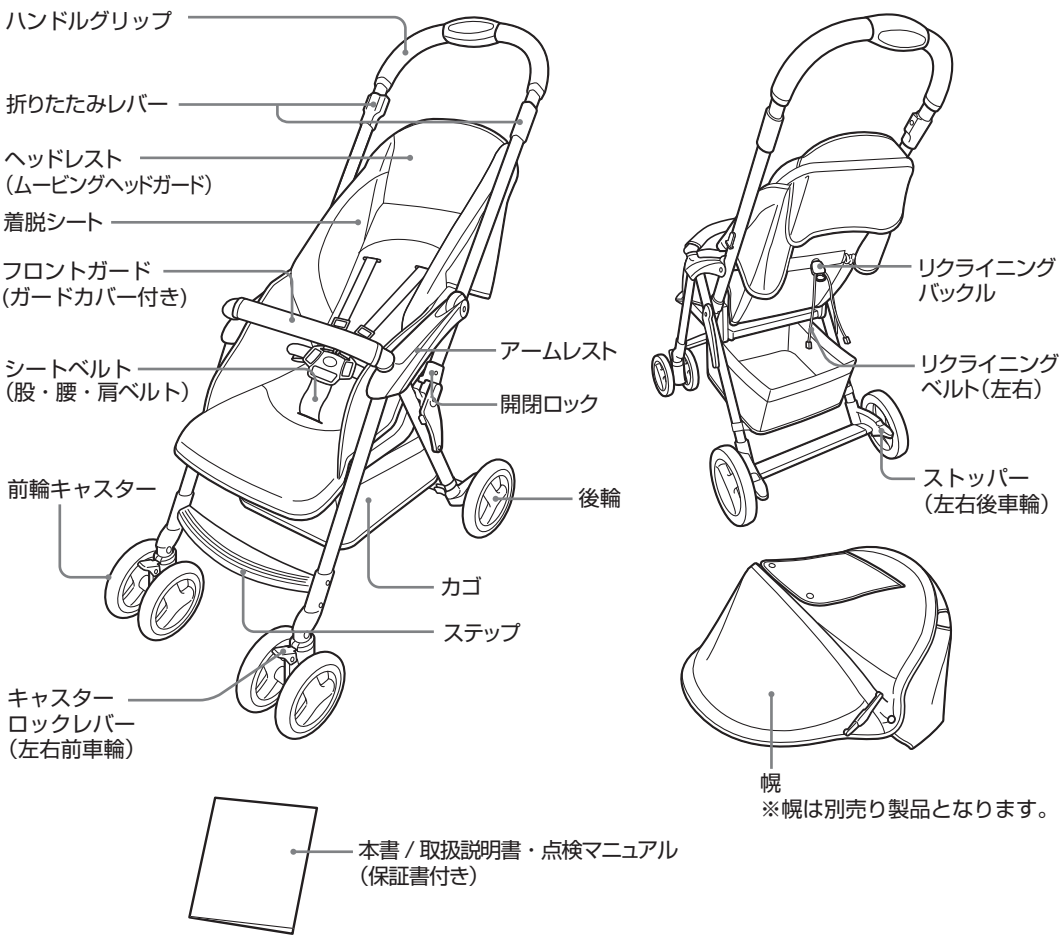
4 製品仕様

製品名	施設用ベビーカー SC51	製品寸法	使用時／W495 × D845 × H1050mm 折畳時／W495 × D495 × H1150mm
品番	SC51G：グレー SC51R：レッド	材質	本　　体：アルミ、合成樹脂 布　　地：ポリエステル シート部：合成皮革（ウレタンレザー）
対象月齢	生後1ヵ月〜4才（48ヵ月）まで	耐用年数	3年（布地、シート部は除く） ※耐用年数を経過しましたら、お取り替えをお願いいたします。
体重限度	18kgまで		
製品重量	5.9kg		

※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヵ月経過した乳児を示します。
※望ましい使用時間：2時間（ただし、7ヵ月以上を対象とした座位使用時は1時間以内）
※当社は環境ISO14001に基づいた環境配慮を行っております。製品を廃棄される場合は、廃棄処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。
※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

5 各部のなまえ

●箱から取り出しましたら、各部品がそろっているかご確認ください。



6 ご使用方法

⚠警 告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

●2人乗りやお子さまをシート以外のところに乗せないでください。
ベビーカーは1人乗りです。シート以外の場所には乗せないでください。

●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますのでしっかりと支えてください。

●使用中、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。
車輪を床につけ、過度の荷重をかけないでください。

●カゴ以外のところに荷物を乗せたりつるしたりしないでください。
荷物はカゴに入れるようにしてください。(別製品の幌をつけた場合、幌の上に荷物を乗せないでください。)

お子さまがケガをするおそれがあります。

●ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。
指や手をはさむおそれがあります。

●幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。
指や手をはさむおそれがあります。

●着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。
すき間に手や足などをはさむおそれがあります。

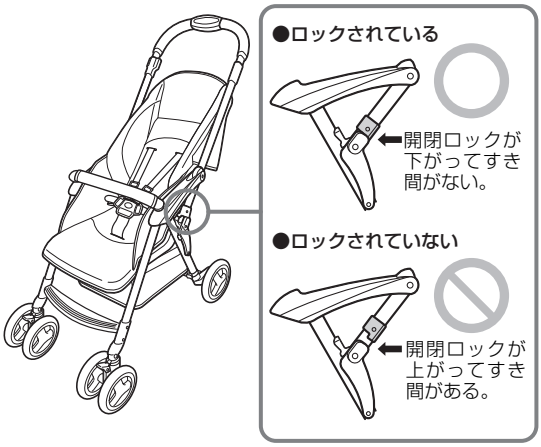
●お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。
足をケガするおそれがあります。

⚠警 告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちるおそれがあります

●完全に開いていない状態では使用しないでください。

開閉ロックがロックされ、完全に開いた状態であるか確認してください。



●お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。

手がすべったり、フロントガードがはずれて落下するおそれがあります。

●シートベルト（股、腰、肩）をはずしたまま使用しないでください。

シートベルトを必ずしっかりと締めてください。

●階段、オートスロープ、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

●お子さまをベビーカーの上で立たせないでください。

必ず座らせて使用してください。

●破損や異常が発生したらすぐに使用を中止してください。

他のベビーカーと交換してください。そのまま使用しますと重大な事故につながるおそれがあります。

裏表紙のお問い合わせ先へご連絡ください。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります

●お子さまや乳幼児を乗せたままベビーカーから離れないでください。

お子さまや荷物を乗せたときは、ストッパーを過信せず、目を離さないでください。

●エレベーターや階段に近い場所にベビーカーを置かないでください。

※空車であっても危険な場所に放置しないでください。

⚠注 意　取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

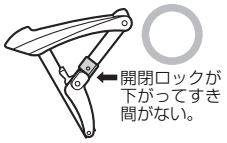
●お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。
目的外の使用では破損などのおそれがあります。
●お子さまにベビーカーを操作させないでください。
転倒や思わぬ事故につながります。
●フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。
破損のおそれがあります。
●フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
●お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。
お子さまが抜け出したり、落下するおそれがあります。
●お座りができないお子さまの場合は、リクライニングを倒した状態でご使用ください。（8ページ参照）
●背もたれを1番倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法は寄りかかってお座りができるお子さまに限ります。
●お子さまの頭が頭部の壁面に当たる場合は、背もたれを1番倒した状態で使用しないでください。
●ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の過重を加えないでください。
破損、故障の原因となります。
●ベビーカーを押すときは走らないでください。
走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
●キャスターロックレバーは、ベビーカーを押す方向に向けて、ロックしてください。
キャスターをロックする位置を間違えて使用すると、押しづらいだけでなく、故障の原因となります。
●ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。
ベビーカーの破損の原因となります。
●カゴには10kg以上の荷物を入れないでください。
破損の原因となります。
●段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
●製品の改造や不当な修理をしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
●路面に溝があるときは、溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
●雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
ベビーカーだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
●風の強いときには使用しないでください。
勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
●雷のときは使用しないでください。
落雷のおそれがあります。
●夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。

ベビーカーの開きかた

⚠ 警 告

- ●必ず開閉ロックがロックされていることを確認の上、ご使用ください。急に折りたたまれるおそれがあります。
- ●開くときは他の人やお子さまを近づけないでください。手や指をはさむおそれがあります。
- ●お客さまに開閉操作をさせないでください。他の人やお子さまが手や指をはさむおそれがあります。

●ロックされている



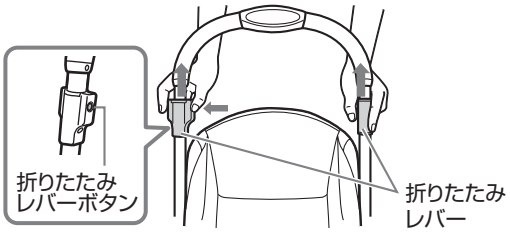
●ロックされていない

⚠ 注 意

- ●お子さまに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

1 **ベビーカーの後ろに立って、右手側の折りたたみレバーボタンを押し、左右の折りたたみレバーを上に引き上げる。**

本体を持ち上げての開閉操作はしないでください。折りたたみレバーが正常に作動しないおそれがあります。

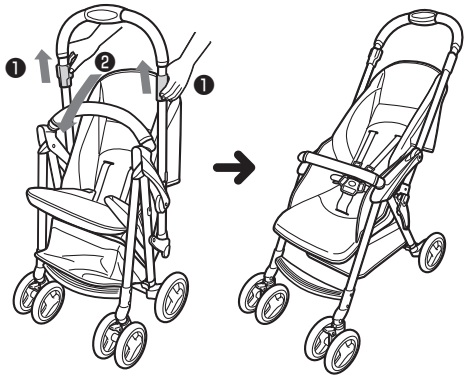


2 **ベビーカーの後ろに立って、**

❶ 折りたたみレバーボタンを引き上げたままハンドルを持ち上げ

❷ そのままハンドルを手前に倒す。

ベビーカーが完全に開きます。



ベビーカーの折りたたみかた

⚠ 注 意

- ●折りたたむことができない場合には、1 度開いて何か引っかかっていたりはさみ込まれていないか確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- ●折りたたむ前に、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。

折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

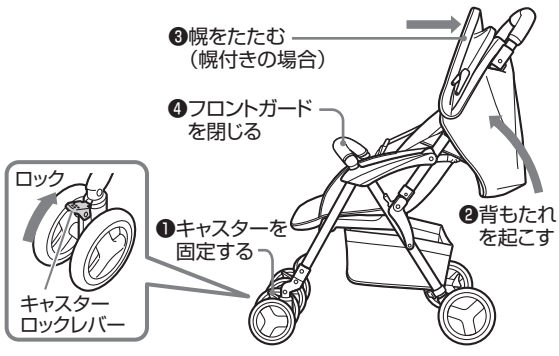
❶ キャスターをロックしてください。このときキャスターの向きは図のようにします。

❷ 背もたれを一番起こした位置にします。**(8ページ参照)**

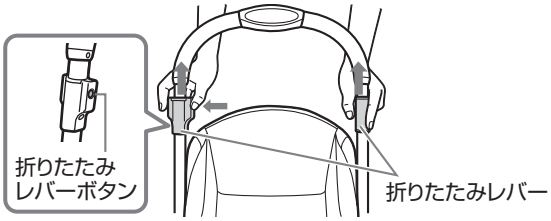
❸ 幌付きの場合は幌をたたみます。**(12ページ参照)**

❹ フロントガードを閉じてください。**(9ページ参照)**

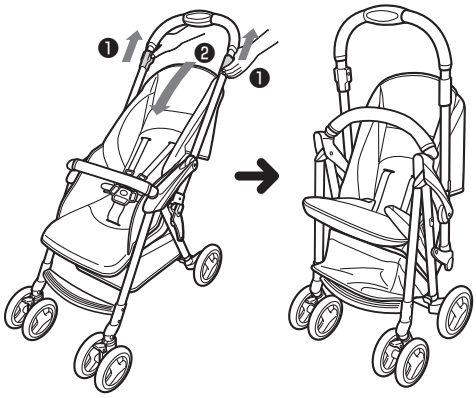
※幌は別売り製品になります。



1 ベビーカーの後ろに立って
右手側の折りたたみレバーボタンを押し、
左右の折りたたみレバーを上に引き上げる。



2 ベビーカーの後ろに立って
❶ 折りたたみレバーボタンを引き上げたまま
ハンドルを持ち上げ
❷ そのままハンドルを押し下げる。



リクライニングの使いかた

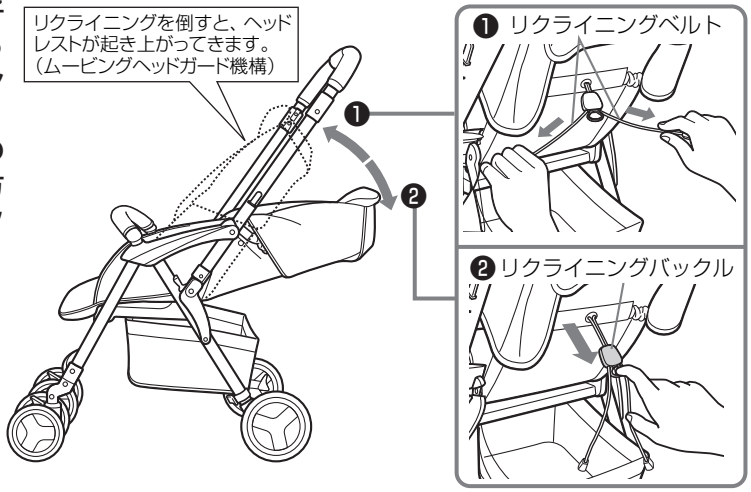
⚠ 警 告	●リクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。 ●お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。 ●リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

⚠ 注 意	●ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。 ●お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。 ●お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、**必ずお子さまの体を支えてください。** ●**お座りができないお子さまの場合は、最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。**

※フルリクライニングでのご使用は、2才(24 ヵ月)までとなります。
お子さまを乗せてリクライニングを操作するときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。
特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

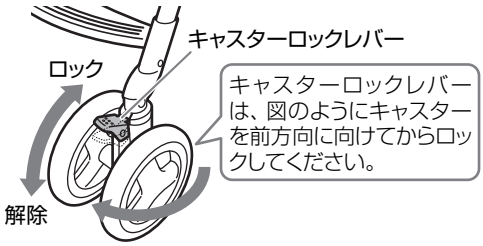
❶背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングベルトを左右に引っぱる。
❷背もたれを倒すときは、片方の手でお子さまの体を支え、他方の手で、リクライニングバックルの中央リングを引っぱる。

お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。



キャスターの使いかた

キャスターロックレバーを下げればロックが解除され、方向が自由に変えられます。
前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。
キャスターロックレバーを上げればロックがかかり、キャスターが固定されます。
※前輪にはキャスターロックレバーがついています。

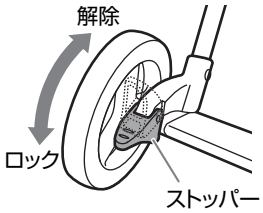


ストッパーの使いかた

⚠ 警 告	●ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。 ●お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

⚠ 注 意	●空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーが不完全な場合、動き出すことがあります。 ●ストッパーをかけたまま、走行しないでください。故障のおそれがあります。

●ストッパーを下げると後輪のロックがかかります。
ベビーカーを軽く前後に動かして後輪が正しくロックされているか確認してください。
●解除するときはストッパーを上げてください。
※ストッパーは左右の後輪内側についています。



フロントガードの使いかた

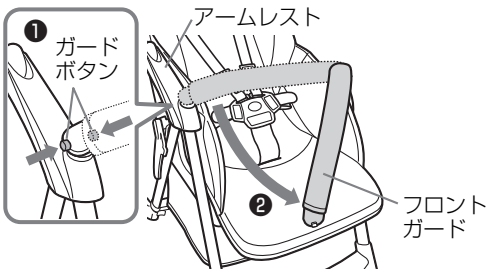
⚠ 警 告	●フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。 フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。

⚠ 注 意	●フロントガードが確実に取り付けられたか必ず確認してください。 ●お子さまの乗せ降ろし時以外は、必ずフロントガードを閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また破損の原因ともなります。 ●フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全な場合、使用中に開いてしまうおそれがあります。 ●フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。 手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。

はずしかた

❶ フロントガードに向かって左端の外側と内側の2つのガードボタンを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。
❷ フロントガードを持って、下に降ろします。



取り付けかた

フロントガードをアームレスト先端の凸部に「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。確実に固定されたか引っぱって確認してください。

シートベルト(股・腰・肩ベルト)の使いかた

⚠警告	●お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。 ●シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。 ●肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

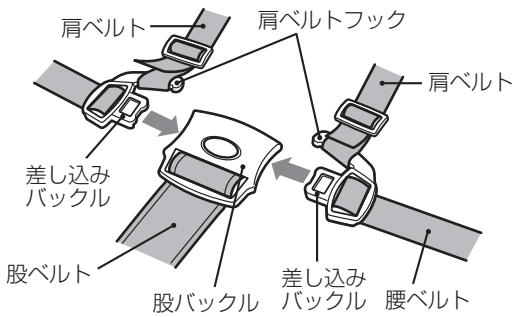
シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた

1 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかける。

2 股ベルトを引き出し、股バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。

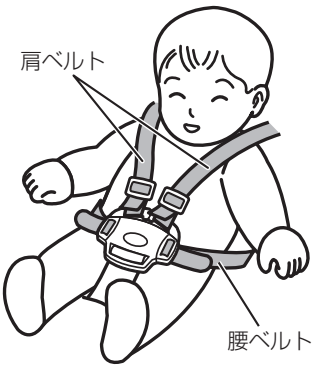
3 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。



お子さまへの装着のしかた

❶ お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。

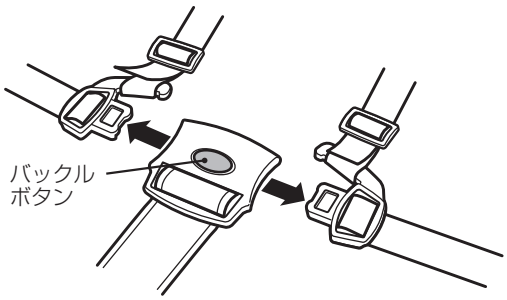
❷ 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右) に引っかけ、股バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。



シートベルトのはずしかた

股ベルトのバックルボタンを押すと腰ベルトがはずれます。

● 長さ調節時にバックルをはずしたときは、右図にしたがって確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

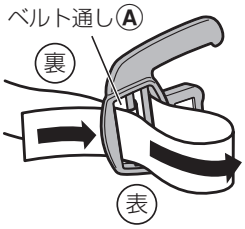


シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

差し込みバックルのベルト通し(ⒶⒷⒸ)

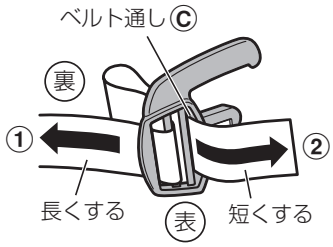
1 バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶからはずす。



2 腰ベルトの長さを調節する。

長くする場合
①の矢印の方向に引く

短くする場合
②の矢印の方向に引く



3 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。(ベルト通しⒶには腰ベルトが二重に通ります)

こんなときは？

ベルトの調節の目安がわからない
→お子さまとベルトの間に、大人の指の第２関節が入るくらいのすき間が目安です。

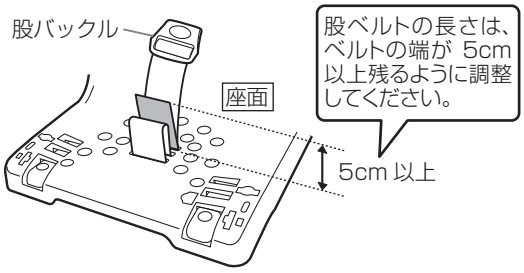
⚠警告
●長さを調節後、腰ベルトを強く引っぱり、腰ベルトがバックルから抜けないことを確認してから使用してください。

※腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、座面側の着脱シートをめくって、図のようにベルトを調整してください。

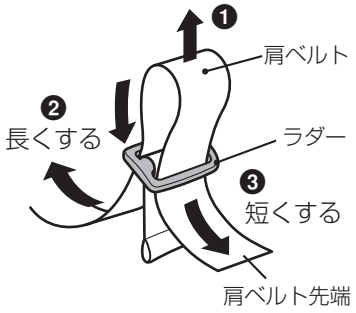
※バックルは股ベルトから、取りはずしできません。



肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出 す。
長くするときには、❷の方向に引っぱり、短くするときには、❸の方向に引っぱる。

※ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。



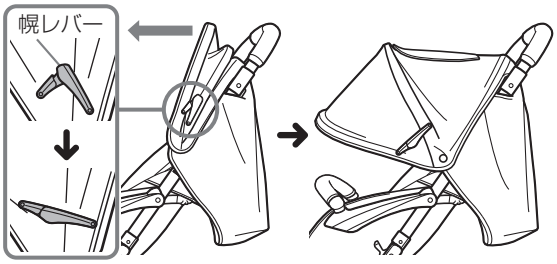
幌の使いかた

⚠ 注 意	●幌は 1 番前まで倒れません。無理に倒すとはずれたり破れたりするおそれがあります。 ●ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌を折りたたんでからにしてください。幌を開いたまま無理にベビーカーを折りたたもうとすると破損の原因になります。

※幌は別売り製品です。

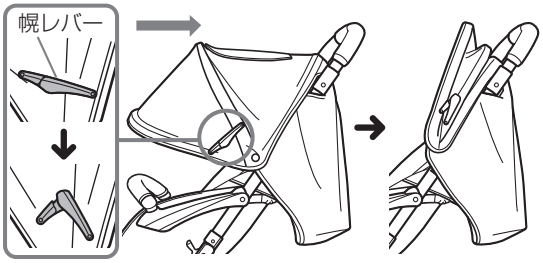
使用するとき

幌を前に広げ、左右の幌レバーの関節部を伸ばす。



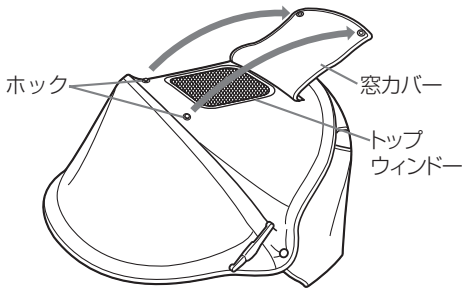
収納するとき

左右の幌レバーの関節部を折り曲げ、幌を後側にまとめる。



トップウィンドー(幌窓)の開きかた

ホック(2 ヵ所)をはずし、窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることができます。



足乗せバーの使いかた

⚠ 注 意	●使用するときは、必ずホックをとめてください。破損やお子さまのケガの原因となります。

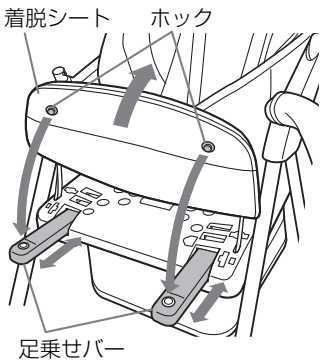
足乗せバーは、お子さまが寝たときに、楽な姿勢にできます。

使用するとき

着脱シートを持ち上げ、座面から足乗せバーを引き出す。
着脱シートをのせ、必ずホックをとめる。

収納するとき

着脱シートのホックをはずし、足乗せバーを座面の中に押し込む。



施設用ベビーカー SC51
点検マニュアル

『コンビ 施設用ベビーカー SC51』を快適に、また安全にご利用いただくために必要な「日常点検」「定期点検」の内容を記載したマニュアルです。
本書の内容に従い、毎日もしくは週ごとの「日常点検」、6ヵ月ごとの「定期点検」を必ず正しく実施してください。

⚠警告 製品を安全に使用していただくために、日常点検と6ヵ月ごとの定期点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。

日常点検 日常点検は目視・触感で行います。工具は使用しません。 **毎日または週ごと**

定期点検 工具を使用して6か月ごとに各部品の点検を行います。 **6ヵ月ごと**

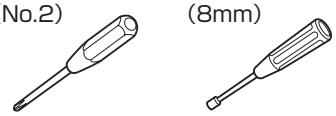
点検の結果、部品交換が必要な場合があります。　※補修部品の保管期間は生産終了後5年間です。

必要工具

※製品によっては使用する工具が異なります。また専用工具が必要な製品もあります。

必要工具：プラスドライバー、ボックススパナ

(No.2)　(8mm)



⚠警告
- ●出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品、工具以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

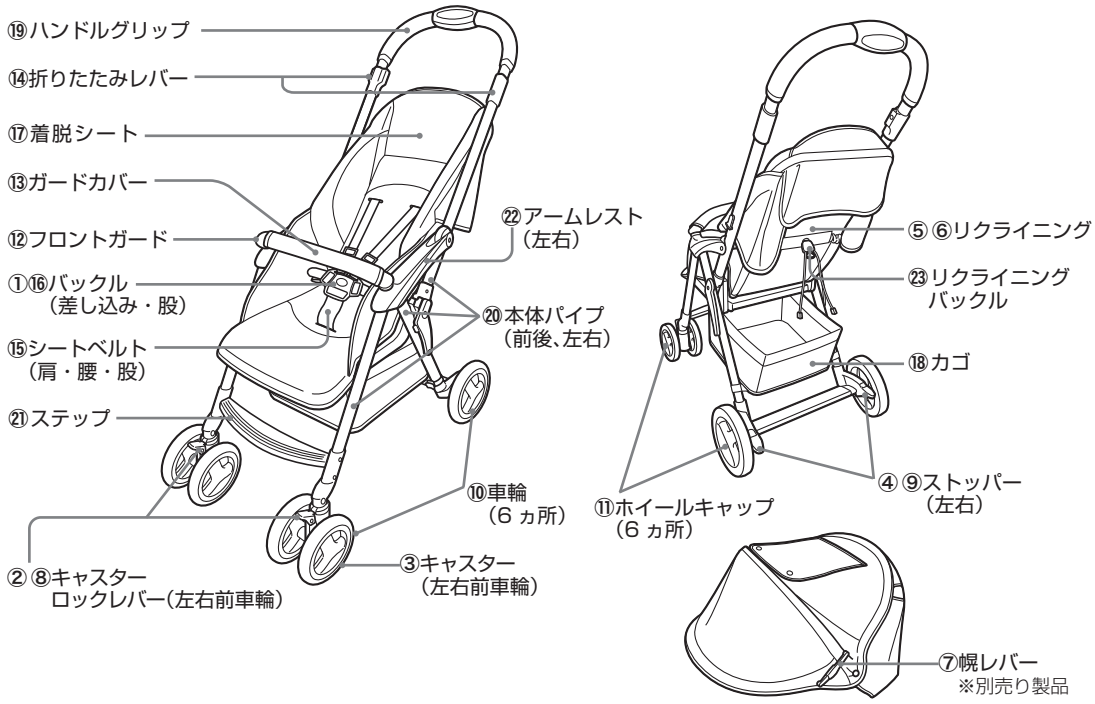
1 日常点検

A 動作確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
①バックルのロックと解除	動作･目視･触感	ロック･解除が動作すること	交　換
②キャスターロックレバーのロックと解除	動作･目視･触感	ロック･解除が動作すること	交　換
③キャスターの回転	動作･目視･触感	回転がスムーズなこと	交　換
④ストッパーのロックと解除	動作･目視･触感	ロック･解除が動作すること	修　理
⑤リクライニングの操作	動作･目視･触感	リクライニングがスムーズなこと	修　理
⑥リクライニングのロック	動作･目視･触感	背もたれが停止すること	修　理
⑦幌レバーの動作	動作･目視･触感	幌が開閉動作すること	交　換

B 外観の確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
⑧キャスターロックレバーの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交　換
⑨ストッパーの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	修　理
⑩車輪の破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交　換
⑪ホイールキャップの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交　換
⑫フロントガードの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交　換
⑬ガードカバーの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交　換
⑭折りたたみレバーの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	修　理
⑮シートベルト(肩・腰・股)の破れ・ほつれ・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交　換
⑯バックル(差し込み・股)の破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	交　換
⑰着脱シートの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感	破れ・ほつれ・紛失がないこと	交　換
⑱カゴの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感	破れ・ほつれ・紛失がないこと	交　換
⑲ハンドルグリップの破損・紛失	目視・触感	破れ・ほつれ・紛失がないこと	修　理
⑳本体パイプの曲がり	目視・触感	変形がないこと	使用禁止
㉑ステップの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	修　理
㉒アームレストの破損・紛失	目視・触感	破損がないこと	使用禁止
㉓リクライニングバックルの破損・紛失	目視・触感	破損・紛失がないこと	修　理



Combi

毎日または週ごと

施設用ベビーカー SC51 日常点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台
動作確認								
①バックルのロックと解除	動作・目視・触感							
②キャスターロックレバーのロックと解除	動作・目視・触感							
③キャスターの回転	動作・目視・触感							
④ストッパーのロックと解除	動作・目視・触感							
⑤リクライニングの操作	動作・目視・触感							
⑥リクライニングのロック	動作・目視・触感							
⑦幌レバーの動作	動作・目視・触感							
外観の確認								
⑧キャスターロックレバーの破損・紛失	目視・触感							
⑨ストッパーの破損・紛失	目視・触感							
⑩車輪の破損・紛失	目視・触感							
⑪ホイールキャップの破損・紛失	目視・触感							
⑫フロントガードの破損・紛失	目視・触感							
⑬ガードカバーの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑭折りたたみレバーの破損・紛失	目視・触感							
⑮シートベルト(肩・腰・股)の破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑯バックル(差し込み・股)の破損・紛失	目視・触感							
⑰着脱シートの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑱カゴの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑲ハンドルグリップの破損・紛失	目視・触感							
⑳本体パイプの曲がり	目視・触感							
㉑ステップの破損・紛失	目視・触感							
㉒アームレストの破損・紛失	目視・触感							
㉓リクライニングバックルの破損・紛失	目視・触感							
点検者								
承認者								

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

2 定期点検

A 動作確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
①車体全体	動作・目視・触感	直進するか（車体を押して確認）	修　理

B 外観の確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
②車輪	動作・目視・触感	車輪の抜けの有無（引っ張って確認）	交　換
	動作・目視・触感	摩耗・偏摩耗の有無	交　換
	動作・目視・触感	車輪のゆがみの有無	交　換
③前輪キャスター取付ネジ	動作・目視・触感	緩みがないこと	増し締め
④車体全体	動作・目視・触感	ゆがみの有無（車体を開いて確認）	修　理
	動作・目視・触感	リベットの飛び出しの有無	修　理
	動作・目視・触感	車体の浮きの有無	修　理

Combi

6ヵ月ごと

施設用ベビーカー SC51 定期点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご利用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台
動作確認								
❶車体全体	動作・目視・触感							
外観の確認								
❷車輪	動作・目視・触感							
❸前輪キャスター取付ネジ	動作・目視・触感							
❹車体全体	動作・目視・触感							
動作確認								
①バックルのロックと解除	動作・目視・触感							
②キャスターロックレバーのロックと解除	動作・目視・触感							
③キャスターの回転	動作・目視・触感							
④ストッパーのロックと解除	動作・目視・触感							
⑤リクライニングの操作	動作・目視・触感							
⑥リクライニングのロック	動作・目視・触感							
⑦幌レバーの動作	動作・目視・触感							
外観の確認								
⑧キャスターロックレバーの破損・紛失	目視・触感							
⑨ストッパーの破損・紛失	目視・触感							
⑩車輪の破損・紛失	目視・触感							
⑪ホイールキャップの破損・紛失	目視・触感							
⑫フロントガードの破損・紛失	目視・触感							
⑬ガードカバーの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑭折りたたみレバーの破損・紛失	目視・触感							
⑮シートベルト(肩・腰・股)の破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑯バックル(差し込み・股)の破損・紛失	目視・触感							
⑰着脱シートの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑱カゴの破れ・ほつれ・紛失	目視・触感							
⑲ハンドルグリップの破損・紛失	目視・触感							
⑳本体パイプの曲がり	目視・触感							
㉑ステップの破損・紛失	目視・触感							

点検項目	点検方法	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台	月日 ／ 台
㉒アームレストの破損･紛失	目視･触感							
㉓リクライニングバックルの破損･紛失	目視･触感							
点検者								
承認者								

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

施設用ベビーカー SC51
部品交換手順書

日常点検や定期点検で異常を発見し、新しい部品と交換する場合は、
この交換手順書をよくお読みの上、正しく交換してください。

シートベルトの取り付けかた

腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた

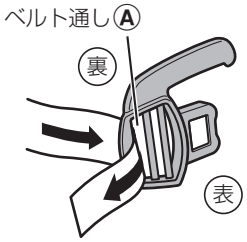
※「腰ベルトの着脱シートへの取り付けかた」については、**21 ページの手順をご覧ください。**

差し込みバックルの
ベルト通し(ⒶⒷⒸ)

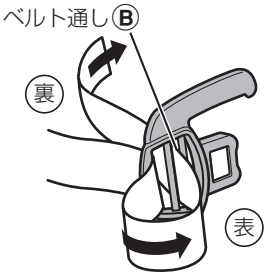
⚠ 警告

●差し込みバックルの取り付けかたが、不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

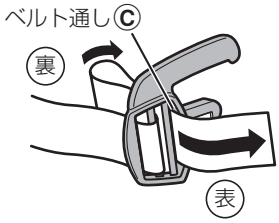
1 バックルのベルト通しⒶに腰ベルトを通す。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向ける。



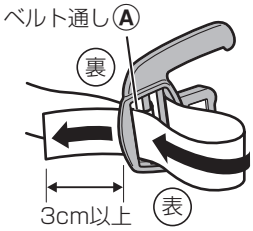
2 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒷから裏側に通す。



3 バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒸから表側に通す。



4 バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。(ベルト通しⒶには腰ベルトが2重に通ります)

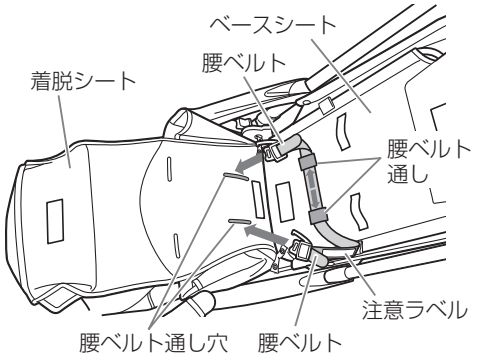


※腰ベルトの長さは、ベルトの端が 3cm 以上残るように調節してください。

腰ベルトの取り付けかた

腰ベルトの裏側を上にして、ベースシート側の腰ベルト通し(2ヵ所)にベルトを通し、着脱シート側の左右の腰ベルト通し穴に通して、取り付ける。

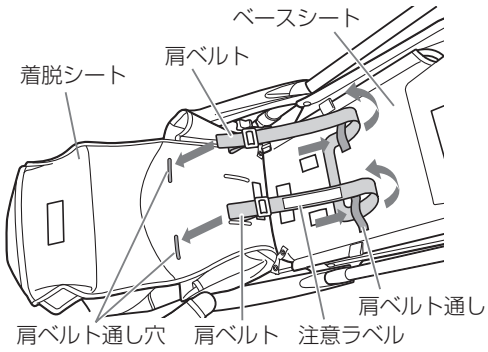
※注意ラベルのある側が表側です。



肩ベルトの取り付けかた

肩ベルトは、ベースシート側の左右のベルト通しに下から通し、着脱シート側の左右の肩ベルト通し穴に通して、取り付ける。

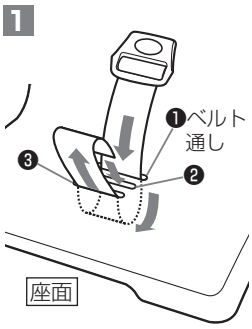
※肩ベルトは注意ラベルを表側にして使用してください。

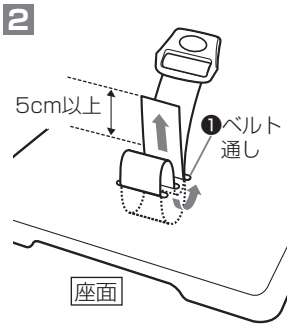


股ベルトの取り付けかた

1 座面の表側から、股ベルトの先端を❶ベルト通しに通し、座面の裏側に入れる。
ベルト先端を❸ベルト通しから表側に出し、❷ベルト通しに通して裏側に入れる。

2 ベルト先端を❶ベルト通しから表側に戻す。



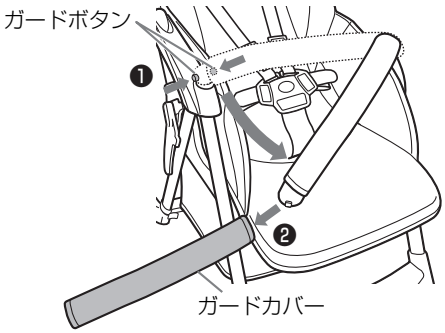


※股ベルトの長さは、ベルトの先端が 5cm 以上残るように調節してください。

ガードカバーのはずしかた／取り付けかた

はずしかた

❶ ガードボタンを押して、フロントガードをはずす。
❷ フロントガードからガードカバーをはずす。



取り付けかた

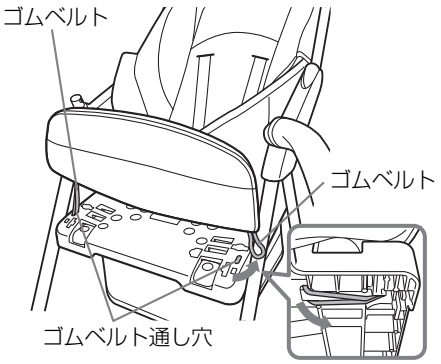
はずしかたの逆の手順で、取り付けてください。

着脱シートのはずしかた／取り付けかた

⚠ 警 告	●着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
⚠ 注 意	●やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。 ●着脱シートを取り付ける際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全な場合、ケガややぶれなどの原因となります。

はずしかた

1 座面裏側のゴムベルト(2 ヵ所)をはずす。



2 股ベルトを引き抜き抜く。

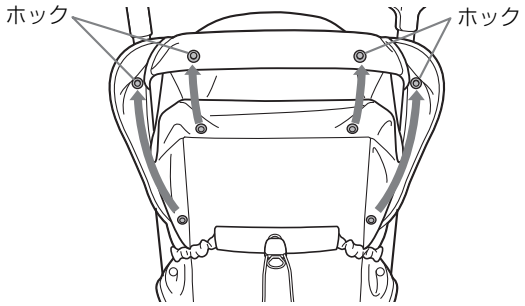
着脱シートから股ベルトを引き抜きます。股ベルト通し穴に対して、バックルを縦方向に入れると取り出しがより簡単です。

3 着脱シート側面のサイドホック(2 ヵ所) をはずす。

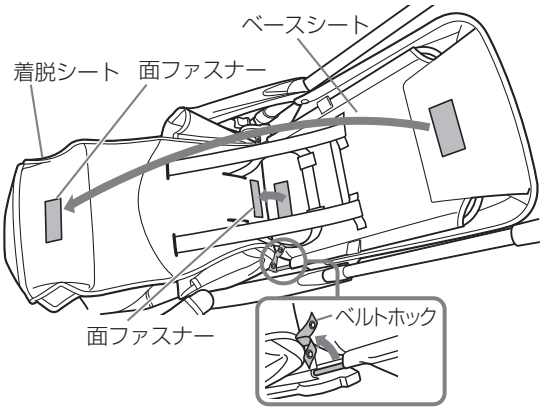
取り付けかた

はずしかたの逆の手順で、取り付けてください。

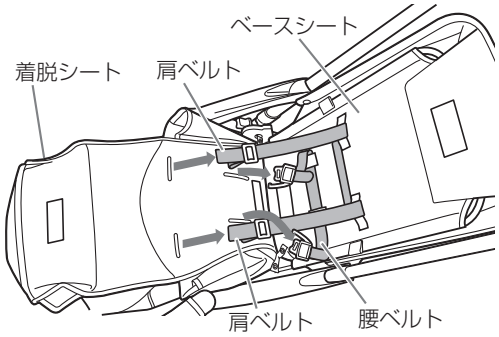
4 着脱シート背面両側のホック(4 ヵ所) をベースシートからはずす。



5 着脱シート中央奥側のベルトホック(2 ヵ所) を本体フレームからはずし、面ファスナー (2 ヵ所)をベースシートからはずす。



6 腰ベルトと肩ベルトを引き抜き、着脱シートをベースシートからはずす。



カゴのはずしかた／取り付けかた

⚠ 注 意	●10kg 以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。 ●角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびやぶれの原因となります。

はずしかた

❶ 座面裏側のフレームから、固定ベルト(2 ヵ所) をU字フックからはずして引き抜きます。
❷ 座面側面のU字フックから、固定ベルト(2 ヵ所) をはずします。
❸ 後脚フレームに巻き付けている固定ベルト(2 ヵ所) を、U字フックからはずします。

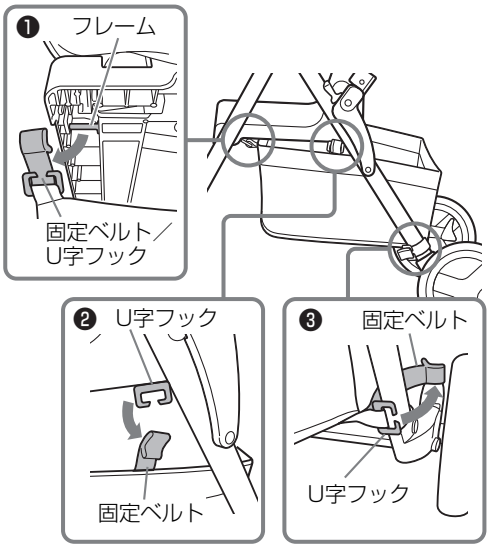
取り付けかた

はずしかたの逆の手順で、取り付けてください。

荷物について

できるだけカゴ底に均等にのせてください。リクライニング操作に支障のない高さにしてください。
ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出してください。

※座面裏側

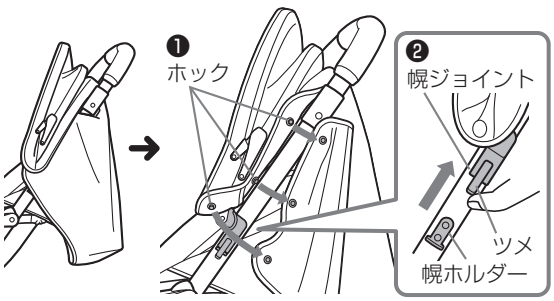


幌のはずしかた／取り付けかた

※幌は別売り製品です。屋外では幌付きでの使用をおすすめします。

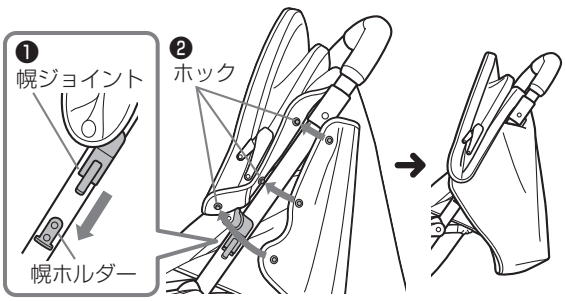
はずしかた

❶ 幌のホック(左右6 ヵ所)をはずす。
❷ 左右の幌ジョイントの下端のツメを指先で手前に引きながら、幌ホルダーから引き抜く。



取り付けかた

❶ 幌をたたみ、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込み固定する。
❷ 幌のホック(左右6 ヵ所)をとめる。



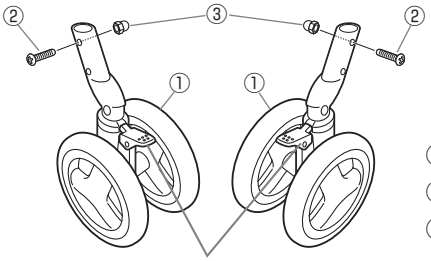
前輪キャスターの交換手順

⚠ 警 告	●必ず取り付け後に、キャスターの方向転換動作を行い、キャスター・車輪がスムーズに回転することを確認してください。

⚠ 注 意	●キャスターにゆるみがあると脱輪し、ケガや重大事故の原因になりますので確実に締めてください。 ●取り付けは、新しい前輪キャスターセットの付属のネジ、ナットを必ずご使用ください。 ●前輪キャスター交換は必ず左右同時に交換してください。

※古いキャスター、ネジ、ナットは、廃棄物処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

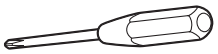
前輪キャスター 交換内容



①キャスター組上り.....2
②ネジ.....2
③袋ナット.....2

交換作業には下記をご用意ください。

●プラスドライバー（No.2）

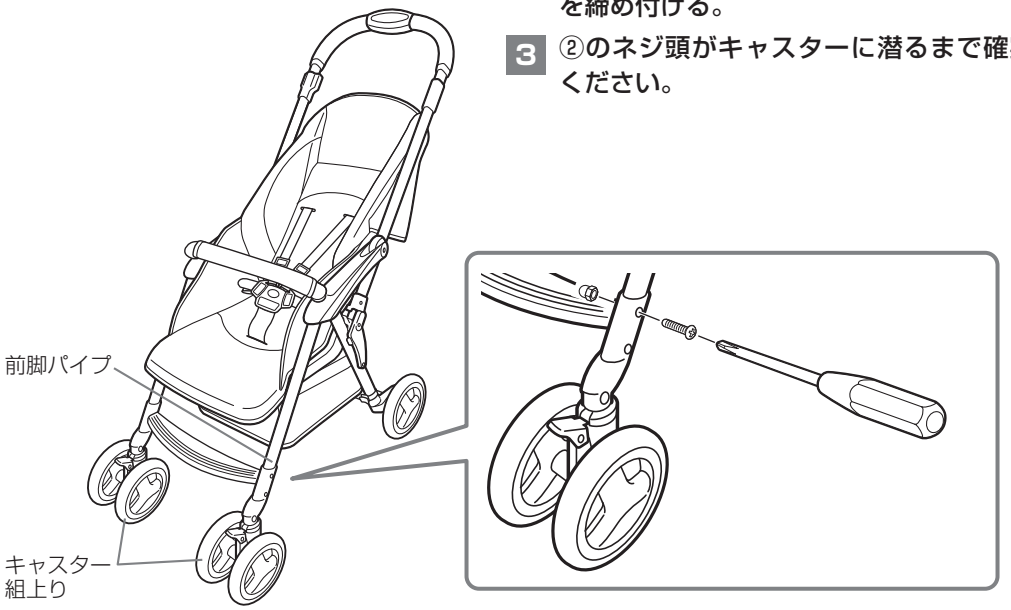


●ボックススパナ（8mm）

キャスターのはずしかた

1 キャスター組上りの上外側にある②のネジをプラスドライバーでゆるめてはずす。

2 キャスター組上りを前脚パイプから抜き取る。



キャスターの取り付けかた

1 新しいキャスター組上りを前脚パイプに差し込む。

【ポイント】
●キャスターロックレバーがロックした状態で車体前方になるように差し込んでください。

2 ③のナットをキャスター孔部にはめ込み、②のネジを締め付ける。

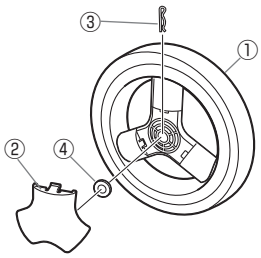
3 ②のネジ頭がキャスターに潜るまで確実に締めてください。

後輪の交換手順

⚠ 警 告	●必ず取り付け後に、後輪の走行動作を行い、後輪がスムーズに回転することを確認してください。

⚠ 注 意	●取り付けは、新しい後輪セットの付属のホイールキャップ、ワッシャー、スナップピンを必ずご使用ください。 ●後輪の交換は、必ず左右同時に交換してください。

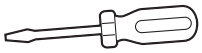
後輪 交換内容



①後輪.....2
②ホイールキャップ.....2
③スナップピン.....2
④ワッシャー.....2

交換作業には下記をご用意ください。

●マイナスドライバーなど

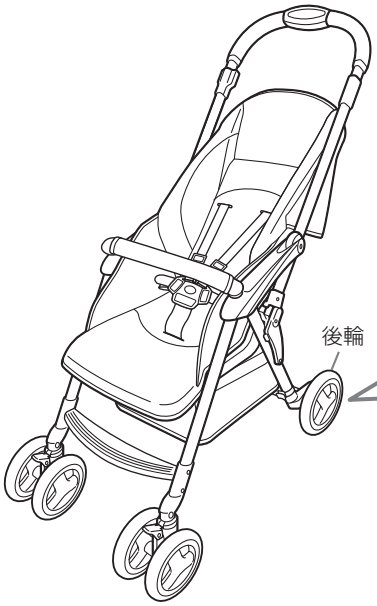


後輪のはずしかた

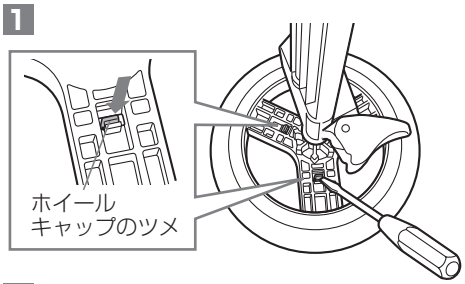
1 左右の後輪からホイールキャップのツメ(左右3 ヵ所)をドライバーなどで押し、はずす。
ツメがはずれたことを確認して、②のホイールキャップをはずします。

2 ②のホイールキャップをはずし、③のスナップピンを引き抜く。

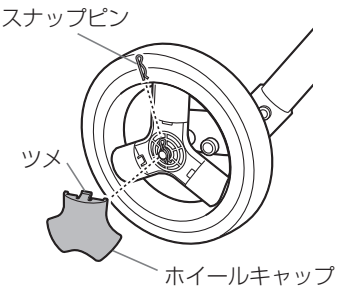
3 ④のワッシャーをはずし、①の後輪をはずす。



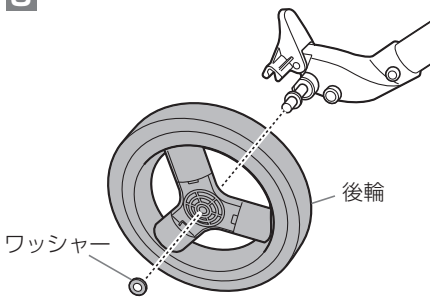
1



2



3

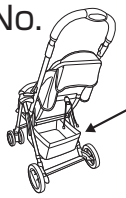


後輪の取り付けかた

はずしかたの逆の手順で取り付けてください。

memo

保 証 書

製品種類	施設用ベビーカーSC51 （SC51G/SC51R）	ロットNo.  後脚パイプ右側に添付 製品名 施設用BC ロットNo. 60002-00～ ロットNo.をご記入ください。
保証期間	納品から正常の ご使用下で1年間	

お施主様	お名前
	ご住所　〒　　－ TEL.（　　）　　－
ご購入業者	
納 品 日	年　　月　　日

取扱説明書および本体注意書きラベルなどの記載内容に従った正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上、ご購入業者または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無料で修理いたします。

●保障期間中であっても、次の場合は有料修理となります。

①本来の使用用途以外でのご使用に起因する故障。
②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。
③メーカー、販売元が指定する業者以外の修理・調整・改造に起因する破損・故障。
④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。
⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。
⑥経年劣化、消耗部品の過酷な使用状況による故障。
⑦天災 / 天変地異 (火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震)、戦争 / 暴動等による不具合。
⑧シートクッションなどの傷ややぶれ。
⑨本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
⑩本書のご提示がない場合。
⑪有料修理の場合に要する発送運賃。
⑫車輪の自然摩耗。

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。
●製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。
●保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客様の故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

※定期点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

製造元 コンビ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7

販売元 コンビウィズ株式会社
〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
サービスセンター　TEL:03-5806-4621　FAX:03-5828-7630
〔受付時間〕祝祭日を除く月～金 10：00～17：00

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ（www.combiwith.co.jp）からもダウンロード（PDF）できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

販売元 コンビウィズ株式会社

本社 / 東京営業所　〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7
TEL.03-5828-7631 FAX.03-5828-7630
大阪営業所　〒540-0026　大阪市中央区内本町2-4-16
TEL.06-6942-0384 FAX.06-6942-0398

●修理・点検に関するお問合せ／コンビウィズ㈱ サービスセンター

［受付時間］祝祭日を除く、月～金 10:00 ～ 17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

製造元 コンビ株式会社

〒111-0041　東京都台東区元浅草2-6-7

○本書に記載されている文章、イラスト等の無断転載を禁止します。

139246000 1403(2)